

〈施設の概要〉

敷地面積	4,143㎡
構造	鉄筋コンクリート造2階建
建築面積	1,536.15㎡
延床面積	2,273.62㎡
展示室延面積	1,315.2㎡
第1展示室	石炭資料展示 670.94㎡
第2展示室	炭鉱の芸術文化展示 176.44㎡
第3展示室	歴史民俗資料展示 181.84㎡
屋外展示場	大型機械展示 1,144.08㎡
	産業ふれあい館 285.98㎡
収蔵庫	199.92㎡

展示室案内図



産業ふれあい館



〈ご案内〉

開館時間 9:30~17:30 (入館は17:00まで)

- 休館日 ●毎月曜日 (毎月第3日曜日の翌日を除く) 及び第3日曜日
●国民の祝日及び休日の翌日 (翌日が日曜日又は休館日にあたるときは、その翌々日)
●年末年始 (12月29日~1月3日)

観覧料	一般	団体
	大人	210円 150円
	高校生	100円 70円
	小中学生	50円 30円
	(団体は20人以上)	

石炭・歴史博物館案内図 (西鉄日の出駅バス停より徒歩5分 / JR田川伊田駅より徒歩10分)



田川市石炭・歴史博物館



田川市石炭・歴史博物館

〒825-0002

福岡県田川市大字伊田2734番地の1 (石炭記念公園内)

TEL・FAX : (0947) 44-5745番

U R L : <http://www.joho.tagawa.fukuoka.jp/sekitan/>

《展示の概要》

■第1展示室■



坑道のジオラマ

石炭のなりたちや、石炭がどのようにして採掘されたか、また、炭坑で働く人々や生活のようすを、「石炭をつくった新生代の植物のイラスト」、「三井田川伊田坑の模型」、「手掘り道具」、「機械採炭道具」、「坑道のジオラマ」、「川筋の模型」、「ミニSSL」などを展示し炭鉱の歴史が一目で、わかるようになっています。



プラズマディスプレイ



パソコン室

筑豊炭田の歴史がわかる動画を配信しています。また、田川の様々なことを紹介するパソコン室も設置しています。

■第2展示室■

炭鉱の生活の中から生まれた、絵画や文学作品などを展示しています。正面の屏風の絵は、斎藤五百枝氏（挿絵・童画家）の炭坑漫画です。これは大正初期の田川の炭鉱風俗を描いた貴重な作品です。



炭坑漫画（斎藤五百枝画）



絶望（石井利秋画）

また、炭鉱でのきびしい労働のようすや、悲惨な事故をモチーフにした、石井利秋氏の絵画や、山本作兵衛氏が体験をもとに昔の炭鉱の仕事や生活を描いた炭坑記録画などがあります。



炭坑記録画（山本作兵衛画）



■第3展示室■

「田川地方の歴史と民俗」をテーマに郷土の歴史資料を展示しています。

田川地方には遠い昔から彦山川、中元寺川を中心に発達した先祖の歴史を物語る文化遺産が数多く残っています。

この地方に住んでいた人々の生活を、先史時代から近世までの考古資料、民俗資料などで、田川地方の歴史が学べるようにしています。



馬形埴輪（猫迫1号墳出土）



伊加利人形



天台寺軒丸瓦

■屋外展示場■

博物館の屋外には、炭坑節に歌われた2本の大煙突や竪坑橋、石炭の輸送に活躍したSSL、採炭・掘進・運搬などに使用されたロードヘッダーなどの大型機械類を展示しています。



屋外展示場



ロードヘッダー

■産業ふれあい館■

建物の外観は炭鉱住宅に模し、内部は明治・大正・昭和期の炭住の間取りを再現、他に展示室、研修室を配置しています。展示室には、炭鉱都市から新産業都市への転換をテーマにした展示を行っています。



産業ふれあい館 外観



昭和期炭鉱住宅 内部